

氏名： 三浦 徹
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
職名： 教授
学位： 文学修士（1986 東京大学）
専門分野： 歴史学（特にアラブ・イスラム史）、都市研究、中東地域研究
E-mail： miura-t@pis.bekkoame.ne.jp

◆研究キーワード / Keywords

イスラム／中東／都市／契約
Islam / Middle East / city / contract

◆主要業績

- MIURA Toru, "Continuity and Discontinuity of Damascus from the Mamluk Period to the Ottoman Rule: Preliminary Remarks on Urban Development", Proceedings of the International Symposium on Bilad al-Sham during the Ottoman Era: Damascus, 26-30 September 2005
- 2009, pp.23-33
- 三浦 徹「サイド『オリエンタリズム』」樺山紘一編『新・現代歴史学の名著』中央公論新社（中公新書）2010年3月、pp.105-120

◆研究内容 / Research Pursuits

1. 人間文化研究機構プログラム「イスラーム地域研究」東洋文庫拠点「イスラーム地域研究史資料の収集・利用の促進とイスラーム史資料学の開拓」の拠点代表者として、研究事業の総括を行った。
2. 東洋文庫西アジア研究班「イスラーム世界における契約文書の研究」の研究代表者として、ワクフ（寄進文書）やイスラーム法廷文書の研究を行った。

◆教育内容 / Educational Pursuits

1. 文教育学部グローバル文化学環および比較歴史学コースの教員として、授業および卒業研究指導を行った。
2. 「イスラム社会文化論1」において、パワーポイントを用い、A V教材を多様した双方向的な授業を行い、学生から好評をえた。
3. 「グローバル・ヒストリー」において、毎回英語の論文(10P程度)を講読する形式の授業を行った。事前に理解の導きとなる質問箱(設問)を配布し、授業ではこれを質疑を通して解答する形で進め、最終回に諸地域の歴史からグローバル・ヒストリーとしてなにが学べるか、という論題でグループ討議を行った。受講者は過去の2回より急増し70名にものぼった。

◆研究計画

地域と歴史についての理解には、比較研究が必要であるが、個々の研究者個人ができる範囲は限られており、共同研究が必須となる。これまで、「都市」「契約・裁判」などをキーワードに共同研究を進めてきた。近年は、史資料のあり方(書式・保存・管理)自体に当該地域の社会システムが映されているというアーカイブズ学の比較研究の方法(外形的な比較)にも関心もっている。また、アンケート調査などによる統計的社会分析の方法や理論を歴史研究に応用することにより、横断的な歴史社会の比較ができないかと考えている。

◆メッセージ

授業では、量より質を重視している。講義をただきくだけでは、考える力や学ぶ意欲は減退する。「なぜそうなのか」「どうすればいいのか」を授業のなかで考えることで、知識が身についていく。こういう授業をすることは、教員も学生もたいへんなのだが、頭を使うことは、体を動かすことと同じくらい、爽快である。